

6月4日（木曜日） 木肌のすべすべに感激！

【参加者：池本、越智宏、越智美、梶川、儀賀、北、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木明、鈴木哲、中 計13名】



ビートルズベッドの木枠や小川に架ける橋に使うための木材を準備することにした。

まず、モリメイトフィールド奥にある杉・檜林の木を間伐することから始めた。木と木の間が狭いところでは、木の倒れる方向を見定め受け口を入れ、慎重にチェーンソーの刃を入れていったのだが、倒した木が別の隣の木に掛かり1回では倒れないことが何回もあり手間取ってしまった。

その後、切り出した木を手作りの台に乗せ、みんなで皮を剥いていった。水分をいっぱい含んだこの時期の木は面白いように剥れ、現れた



た木肌は白くてみずみずしくすべすべしており、頬ずりしたくなるほど美しい！！ワイワイガヤガヤいろいろな話をしながらの楽しい時間であった。ビートルズベッドの木枠用の5mの材と丸太橋用の4mの材、合わせて13本作ることができた。あと数本必要なので日を改めて皮剥ぎ作業をすることにした。

6月11日（木曜日） 雨模様の中、園内散策

【参加者：池本、越智宏、越智美、梶川、上地、北、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、中

計11名】



花菖蒲が満開でした



サギソウ園でハッチョウトンボの雄・雌を見つけました



トキソウ



6月18日（木曜日）梅雨も楽しやモリメイト

【参加者：池本、梶川、上地、北、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中 計10名】



優しく降り注ぐ雨の中、傘を差しながら園内を散策。サギソウ園の近くにカキランが群生していた。雨に濡れ柿色がより美しく感じられた。4番東屋付近の散策路沿いの緑陰には透き通るような薄桃色のササユリが顔をのぞかせていた。雨の中、生き生きと咲く花々を見つける散策。「梅雨も楽しや」である。

雨も止んできたので、今年の「くぬぎの森作り」で植樹するクヌギの苗木を1苗ずつビニールポットに移植する作業を行った。

その後、来年のオリエンテーリングの参加者に渡す木製の手作りキーホルダーの色付けを行った。



モリメイト会議

- ・「第6回くぬぎの森づくり」（森林ボランティア活動支援事業）申請書の検討
令和2年11月8日（日曜日）実施予定
- ・ササユリの保護について
種ができた後（11月から3月）に機械で周囲の笹刈りを行い、芽が出てからは手鎌で刈る。
- ・花菖蒲園を広げるための準備を進めていく。



6月25日（木曜日）芦田さんを迎えて

【参加者：越智宏、越智美、梶川、上地、北、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中 計11名】

芝田さんの知人である芦田さん（近畿大学農学部の元教官で環境植物学、いわゆる雑草学が専門）を迎えて、モリメイト活動を行った。

サギソウ園の近くで、ヤマモモに付いていたコケを芝田さんが見つけ質問。芦田さんがそのコケについて詳しく説明してくれた。樹皮につくこのコケの正体は「ウメノキゴケ」といい、地衣類で、見た目はコケなんだけれど中身は菌類で内部は藻で、藻が光合成を行い菌類が生きている 非常に変わった植物だそうである。この「ウメノキゴケ」は環境変化に弱く排気ガスなどの大気汚染が進行すると発生しないため大気汚染の指標とされているそうである。「コケがつくから木が弱る」という人もいるが「木が弱って成長しないためにコケがつく」ので本来コケが生えていても問題はないということであった。よく見かけるこの植物の正体が分かり、目からうろこであった。この後も芦田さんの説明を聞きながら散策。日ごろは目にも入らず見過ごしている公園内の植物に

も有意義な時間を過ごすことができた。

昼食後、雨が



ハッチョウトンボ危うし！

